

## 臨床研究に関する情報公開および研究協力のおお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。通常の診療で得られた過去の記録情報をまとめることにより行う研究は後ろ向き臨床研究と呼ばれ、このような研究を行なう際、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、下記の「お問い合わせ先」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。またこの研究については株式会社日立製作所病院統括本部倫理委員会の許可を得ています。

【研究課題名】 緊急消化管手術に対する全身麻酔の際の胃エコーによる胃内容物評価の有用性の検討

【研究責任者名・所属】 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 麻酔科主任医長 岡部格

【研究目的】 緊急消化管手術時の全身麻酔導入の際は多くの場合フルストマックと判断され、誤嚥を防ぐために迅速導入が選択される。しかし麻酔導入後に胃管を挿入しても胃内容物がほとんど吸引されないこともしばしばあり、その場合は不必要な迅速導入をおこなうことにより逆にリスクを高めてしまっていた可能性がある。近年胃エコーによる胃内容物の評価が注目されており、緊急手術時に適切に施行すればの全身麻酔時の誤嚥のリスク評価をより正確におこなうことができると考えられる。

【研究期間】 倫理委員会承認日～2019 年3 年31 日

【対象者】 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院で、2016 年10 月1 日～2017 年12月31 日の間に緊急消化管手術に対する全身麻酔導入の際に、胃エコーによる胃内容物評価を施行した20歳以上の症例

【方法】 電子カルテ・麻酔記録より病名、施行術式、最終飲食時間、胃前庭部短軸像の断面積、胃管よりの胃内容物の量、選択した麻酔導入方法、誤嚥の発生の有無に関する情報を入手し統計学的な処理・解析を行う。

【問い合わせ先】

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 麻酔科主任医長 岡部格

〒321-0057 茨城県ひたちなか市石川町 20 番 1 電話（代表）029-354-5111